

伝え方総点検

市民ワークショップ開催レポート

Vol. 1

2025. 01. 20

川西市 広報広聴課

レポートの目的

川西市では、より良い情報発信のため、いろんな広報媒体について、「伝え方総点検」を実施しています。このレポートでは、その途中経過をまとめていますので、ぜひご覧ください。

1. 伝え方総点検 ってなに？

川西市は広報事業について、次のような方針、目標を掲げています。

広報戦略 (R4.2～)

- ・ 情報共有を通じた市民と行政、双方向のコミュニケーションと良好な関係づくり
- ・ 事業、業務のお知らせや結果だけでなく、考え方や途中経過なども含めた情報の発信
- ・ 市民にとって分かりやすく伝わりやすい 情報の発信

第6次総合計画 (R6.4～R14.3)

- ・ 市民と市の良好な関係づくりを図るため、市民目線の広報を行う
- ・ 広報誌やホームページ、パブリシティ活動などを通じて、行政情報などを提供するほか市民とともに川西の良さを市内外に発信する

はたして、市民は必要な情報を入手できているのか？市は市民目線の広報ができているのか？

目標達成のため、実施するのが「**伝え方総点検**」です！



2. 市民の意見を聞くワークショップを開催

市が発行している広報誌やSNSについて市民の皆様の意見を聞くために、広報誌とSNSに分けて市民ワークショップを各2回実施し、のべ13名の方々にご参加いただきました。

STEP 1

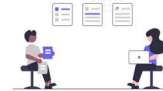
課題はなんだろう

2024. 10. 12

STEP 2

まとめましょう

2024. 11. 9



3. 広報誌 milife を考える / 広報誌の中身

まず、広報誌 milife の中身はどうなっているのか見てみましょう。

① 表紙



② 特集記事



③ Topics



④ 相談の案内 / ⑤ 市政情報



⑨ 裏表紙



⑥ Information

お知らせコーナー



⑦ コラム



⑧ Photo News



案内
発表・鑑賞
公民館、福祉
健康、スポーツ
催し
中央図書館
高齢者、子育て

3. 広報誌 milife を考える / ワークショップでの意見

市民ワークショップでは、広報誌について様々なご意見をいただきました。

R6. 10. 12

レイアウト・体裁のこと

- ・記事のテーマは大きな文字にして目立つように
- ・記事に子ども、高齢者などのアイコンを設けてはどうか
- ・読み物とそうでないものの整理をしたほうがよい
- ・市民全体に知らせることは大きく、ニッチな内容はQRコードでリンクでもよいのでは
- ・ベタうちの記事のQRの場所が分かりにくい
- ・インデックスは色分け、集約ページをつけるなどはどうか → 例) 豊中市広報
- ・縦書きと横書きが混在されているが、意図をもって整理を

... etc.



R6. 11. 9

内容のこと

- ・イベントを色々しているため、まとまったイベント情報がもう少しほしい
- ・人の活動の様子や、地元のドクター、読者の声に目をつけるのはどうか
- ・市民ミーティングの模様などの内容をしっかり載せてほしい
- ・背表紙にスマホの使い方などを載せてネット環境に誘導できるように

... etc.



3. 広報誌 milife を考える / ブラッシュアップ

ワークショップをふまえ、以下の3点について見直しを行い、milife 4月号から段階的に試行します！

レイアウト・体裁のこと

POINT

01

インデックスのページを新設

各ページの内容を示すインデックスをわかりやすくするため、インデックスページを新設。他にも読者の声や、SNSなどへの案内などもまとめます。

POINT

02

Information お知らせコーナーの見せ方を検討

縦書きか横書きか、ピクトグラムの追加、HPへの誘導の仕方を含めてInformation お知らせコーナーのより良い見せ方を検討します。

内容のこと

POINT

03

コラム、イベントスケジュールの見せ方を検討

既存のコラムやイベントスケジュールについて、ワークショップもふまえて見せ方を検討します。

〔参考〕 milifeに掲載しているコラム

意外と知らない体の話、歯の話、子育てSTYLE、参画と協働の芽
食と育つ、生きる、消費生活センターだより

変更内容など詳しくは、広報誌 milife 4月号をご覧ください！

※ レポート Vol. 2 では市公式SNSについてまとめているので、あわせてご覧ください。